

放射性物質の測定結果

- 1 測定場所 新発田広域クリーンセンター及び中条地区塵芥焼却場
- 2 測定対象 焼却灰（主灰及び固化飛灰）
- 3 測定項目 放射性セシウム濃度（セシウム134及びセシウム137）
- 4 測定機関 一般財団法人 新潟県環境分析センター

5 測定結果

① 新発田広域クリーンセンター

試料採取日：令和4年10月13日(木)

(単位：ベクレル/kg)

	セシウム134	セシウム137		
主灰	5未満	5未満	検出下限値	5
固化飛灰	5未満	8	検出下限値	5

② 中条地区塵芥焼却場

試料採取日：令和4年10月14日(金)

(単位：ベクレル/kg)

	セシウム134	セシウム137		
主灰	5未満	5未満	検出下限値	5
固化飛灰	5未満	5未満	検出下限値	5

注) 主灰 ごみを燃やして処理する際に発生する灰のうち、焼却炉から排出される灰（燃えがら）をいう。

注) 固化飛灰 ごみを燃やして処理する際に発生する灰のうち、排ガス出口のろ過式集じん器によって集められたダスト（ばいじん）を飛灰という。最終処分場に埋立処分する際は、飛灰の飛散及び重金属溶出防止のため、セメントとキレート剤（重金属固定剤）を添加し、固化した状態で埋立管理していることから、環境省の見解を踏まえて、測定値は固化した灰で表示。